

混練性押出性試験機

型式：ラボプラストミル 4C150
(株式会社 東洋精機製作所)

仕様：

<混練性試験>

ローラミキサ 60 cc

最高温度 250 °C

最大許容トルク 200 N・m

<押出性試験>

ベント付二軸 直径 20 mm

最高温度 350 °C

最大トルク 100 N・m



機器の概要：

プラスチックやゴム製品の成形加工等における機能・形状・外観・生産性等に寄与する最適な加工条件を得ることを目的に、材料の混練性、ゲル化、動的熱安定性、押出性を評価する装置である。

機器の用途：

県内企業への技術支援や技術者教育を通して、プラスチックやゴムの製品製造に関わる企業の競争力強化を図るとともに、「売れるものづくり」に向けた新素材や新規製品の研究開発の支援を行う。具体例として、農林水産の資源を活用した食品加工や、バイオマスを原料とした工業材料の開発を行う。

担当部：ものづくり室

導入年度：平成27年度



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

公益財団法人 JKA 補助事業

この物件は競輪の補助を受けて取得しました。